

九月八日
晴
東恩納

ヲ差出シ大場中尉ノ区署ヲ受ケムベシ

左記

五中隊 下士官 一名 兵 十二名

其他者畧

七、中隊命令

(一) 藤井候補生八兵十二名ヲ指揮シ明八日八時
池原※ニ至リ大場中尉ノ区署ヲ受ケムベシ
細部ニ関シテハ別ニ指示ス

一、中隊長以下二二名築城作業ヲ續行ス
二、山木伍長以下九名軌條取外ニ作業ヲ續行
ス

昭和十三年九月 小澤

陣中日誌用紙

陸軍

三、藤井候補生以下十名出發シ口糧秣卸下
援助作業ヲ終了級隊ス

四、山七六深作命第十七號要旨

(一) 部隊ハ山七六作命第二十八號ニ基キ海岸
地区ニ於テ築城ヲ促進セントス

(二) 省畧

(三) 第五中隊一部及第四中隊殘置小隊(一ヶ
小隊)ハ速カニ東恩納海岸附近ノ陣地構
築ヲ開始シ本月末迄ニ其ノ基幹陣
地ノ作業ヲ完了スベシ

(四) 第四中隊ノ具志川地区ニ於ケル使用木材
一部ハ東恩納附近指定地区内ニ於テ代
採スベシ

細部ハ第五中隊長ト協定スベシ

九月九日

晴

東恩納

作業

教育

- 一、中隊八築城作業ヲ續行ス 作業人員將校以下一〇九名
- 二、中隊長海岸地形偵察ヲ實施ス
- 三、山水伍長以下十名軌條取外ニ作業ヲ實施シ本日終了ス
- 四、中野少尉爆雷演習見學ノタメ山部隊本部ニ出張即日歸隊ス
- 五、武田軍曹兵器彈藥ニ関スル打合せノ為具志川R本部ニ出張ニ即日歸隊ス
- 六、陸軍二等兵山田基雄 R漁労班ヨリ歸隊ス

衛生

給養

- 五、上陸以來輸送間ノ疲勞回復ノ間モナク連日ノ作業ニ加ヘ玄米給養ノ關係デ多心性腸炎多發シアルモ志氣旺盛ニシテ作業ニ休務スルモノナシ
 - 八日現在ノ衛生狀況左ノ如シ
 - 左記
 - 入院一、(直原二等兵大分陸病)
 - 練兵休二、
 - 六、衛生ノ現況ニ鑑ミ玄米ノ焚方ヲ研究ス
- (四)各隊ハ本月末迄ニ現在計畫シアル築城ノ完成ヲ自途ニテ作業促進ヲ強化スル外各隊担任地区内ニ於テ彈藥糧秣分散格納所築設ヲ開始スベシ
- 其他者畧

九月十日

東恩納
築城

命令

- 一、中隊長 第二小隊長ヲ伴ヒ海岸地形偵察ヲ實施シG中掩蓋^三ヲ着手セシム
 - 二、指揮班 海岸地区ノ伐木ヲ實施ス
 - 三、第一次作業計畫ヲ變更シ九月末日迄ニ於ケル海岸陣地計畫左如シ
- MG 兼用中掩蓋 一〇
L 中掩蓋 一三
- 四、山七六^深作命 第九號要旨
- 一、部隊ハ集積用糧秣塔載知下ヲ實施セントス
- 二、各隊ハ左記ニ依リ兵力ヲ差出シ用中七村ノ槍

昭和十三年九月十日

防謀

命令

- 七、中隊保管機秘密書類検査ヲ實施シ異狀ナシ
- 八、中隊命令
- 一、中隊ハ山七六^深作命第十七號ニ基キ東恩納海岸陣地ノ骨幹ヲ九月末日迄ニ完了セントス
- 二、各小隊ハ現ニ實施シアル楚南地区陣地作業ヲ取敢ス射裏ニ得ル如ク急速ニ完了シ別ニ指示セル東恩納地区ノ築城作業ヲ計畫實施スベシ
- 三、村瀬曹長ハ班ヲ以テ伐木班ヲ編成シ海岸地区築城予定地附近ニ於テ伐木ヲ實施スベシ

揮ニ入ラシムベシ

左記

塔載

人員 五中隊 下士官一名 兵十五名

四集合日次場并 九月十八日 楚南炊事場

二 知下

(小)人員 本部各隊現在スル全兵力

各隊至官一名 細部指示スルニ付 八時炊事

場ニ差出シ 田中少尉ノ指示ヲ受ス

其他者畧

五 中隊命令

(一) 藤井候補生 以下 十五名

集積用糧秣塔載多ク 明十九日 八時 楚南

炊事場至リ 田中少尉ノ区署ヲ受クベシ

九月十日

二 山水伍長ハ 明十九日 八時 炊事場ニ至リ 田中少

尉ノ指示ヲ受ケ 連絡ニ任ズベシ

三 楢木重曹ハ 爾余人員ヲ指揮シ 山水伍長

ト連絡ノ上 卸下ニ任ズベシ

一 中隊長築城査閲見學子トシテ 具志川ニ出張ス

二 藤井候補生以下 十五名 集積糧秣塔載ニ出カス

三 中野少尉以下 一〇七名 築城作業實施 一四〇〇

ニ至リ 築城作業ヲ中止シ 楢木重曹ノ指揮ヲ

以テ 集積糧秣ノ卸下ニ任ズ

四 日中ニ於ケル 坑内ノ探光ニ 反射鏡及 帆布

ヲ垂シ 利用ス

資材